

2. 軟式野球

- 1 期 日 令和8年7月18日(土)・19日(日)・21日(火)・22日(水)
予備日 23日(木)・24日(金)
- 2 会 場 東田球場(4日間)18日(土)19日(日)21日(火)22日(水)
蒲郡球場(4日間)18日(土)19日(日)21日(火)22日(水)
予備日 高師緑地青少年広場(23・24日) 蒲郡球場(23・24日)
- 3 参加人員 1校1チーム 20名(監督1名)
① 引率者・監督については当該校の教員に限る。
② コーチについては、校長が承認した者に限る。
- 4 競技上の規定および方法
① 審判規定は2026年度公認野球規則・競技者必携による。
② 試合方法はトーナメント方式とする。
③ 7回を終了して勝敗が決定しない時は継続打順による特別ルールとする。

【特別ルール】

前回の最終打者を一塁走者とし、二塁の走者以降は順次前の打者として無死満塁の状態にして次打者から攻撃を1イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決定しない場合は、同様に勝敗が決定するまで繰り返し行う。(試合終了時の得点表示は特別ルールの得点を含めた合計得点とする。)

- ④ 3回10点差、または5回7点差を生じた場合はコールドゲームとする。なお、降雨・雷鳴・その他の事情で試合続行が不可能と判断された場合は、特別継続試合とする。
- ⑤ 全試合において、時間制限を設ける。初回の「プレイ」から90分(本部で計測)を経過して新しいイニングに入らない。ただし、グラウンド整備や給水タイム、突発事故や天候に関わる中断の時間は除く。
- ⑥ 各試合、3回表終了時と5回裏終了時に5分間のクーリングタイムを設ける。また、7回終了後に特別ルールを行う場合もクーリングタイムを設ける。
- ⑦ ベンチには、登録選手20名および次の人員以外は入ることはできない。監督(教員)1名。当該学校教職員2名(外部コーチは1名まで)。スコアラー(生徒に限る)+ボールボーイ(スパイク・ユニホーム着用)5名の最大28名までとする。
- ⑧ 監督およびコーチは選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。監督は、背番号「30」をつける。コーチは「29」、「28」をつける。
- ⑨ 捕手(スピア捕手も含む)は、プロテクター、レガーズ、ヘルメット、スロートガード、ファウルカップを着用する。スロートガード一体型を認める。
- ⑩ 打者、次打者、走者、ベースコーチは、ヘルメットを着用する。なお、ヘルメットは両耳タイプのものとする。
- ⑪ バッティング用手袋の装着を認める。ただし、白または黒色の単色のものに限る(打者走者とベースコーチとの受け渡し×、手袋を握っての走塁×)。なお、ランナー専用の手袋については、全中の規定にある「ひとまわり大きいサイズの走塁用手袋の使用はできない」に則り、禁止とする。リストバンド、サポーター、バットリング、マスコットバットを球場内に持ち込まない。
- ⑫ ベンチでのメガホンの使用は監督に限る。ベンチでの喫煙、サングラスの使用を禁止する。ただし、医療目的の場合、事前に本部へ申請し、審判と相手の監督が認めた場合はサングラスの着用を認める(監督、コーチ、選手)。
- ⑬ 突発事故が起きた場合。

【臨時代走】

一時走者を代えたい場合は、主審に申し出て、審判団が必要と認めた時は許可する。ただし、臨時代走者は出場選手の内、最も打順の遠い選手とする。(投手・捕手を除くことができる)

- ⑭ 投球練習は、初回、交代時は7球以内、イニングの最初は3球以内とする。
- ⑮ 無用のタイムなどは慎み、試合の進行に協力する。
ア 打者は、みだりにバッターボックスをはずさない。
イ 投手が捕手のサインを見るときは、必ずプレートを踏んで見ること。

ウ タイムは1分を限度とする。ただし、審判員が必要と認めたときは、この限りではない。

- ⑩ ベンチは、抽選番号の若番が1塁側とする。
- ⑪ 会場内での試合前の練習およびシートノックは、選手20名とする。ただしボールボーイの手伝いは認める（ノッカーはユニフォーム着用）。
- ⑫ ソックスの上にストッキングを必ず着用する。スネの保護にならないハイカットのストッキングの着用を禁止する。ストッキングはアーチが見える形状とする。
- ⑬ 使用できるバットは全日本軟式野球連盟公認のものとする。
- ⑭ メンバー表は4部提出する。第1試合は試合開始30分前に、以後は前の試合の開始1時間後をめどに、それぞれの監督と主将が本部へ提出する。
- ⑮ シートノックは後攻から始めて5分以内とする。なお、ノックの際、マウンド付近には入らない。次の試合の先発バッテリーは、前の試合の開始1時間後をめどにブルペン練習を認める。
- ⑯ 自軍ベンチ側のファールボールは速やかに拾いに行き、球審に渡す。
- ⑰ 審判の宣告には異議を申し出ることはいない。ただし、規則上の疑義については、原則として監督及び当該プレイヤーのみが質問をすることができる。
- ⑱ ゲーム中、監督は次の場面以外ベンチから出てはならない。
 - ア 選手交代の申し出をする場合。 イ 突発の事故が起きた場合。
 - ウ 審判員の宣告に対して疑義を申し出る場合。
 - エ 選手への指示を簡潔に行う場合。（必要以上に行わない）
- ⑲ 規則3.03（原注：投手は同一イニングで投手以外の守備位置に2度つくことは許されない）は、適用しない。
- ⑳ 試合終了の挨拶は、ホームプレートでの挨拶で終了とし、速やかにベンチをあける。

5 参加校の選出方法

- ① 支所大会に出場したチームのうちから選出する。
- ② 選出校は、豊橋5、豊川・蒲郡各2チーム・田原・新城・北設各1チーム

6 表彰

- ① 優勝 優勝旗、賞状
- ② 準優勝 賞状
- ③ 3位 賞状

7 申し込み方法

- 各支部大会実施要項によって2部作成し、組み合わせ会場へ持参する。
※参加申込書の「位置・種別」欄に、背番号（1~20）を記入する。

8 その他

- ① 大会の組み合わせは、事前に各市の運動部員で行う代理抽選で決定する。
- ② 天候不良の場合の問い合わせは、「愛知県中小学校体育連盟東三河支部HP」を確認する。
- ③ 応援団は次の事項を守ること。
 - ア 紙吹雪、テープ、個人名の入ったのぼり等の使用を禁止する。
 - イ 相手チームをやじったり、プレイを妨げたりするような応援をしない。
 - ウ メガホンの使用を認める。
 - エ 鳴り物については、攻撃時のみ使用可とする。
 - オ その他、中学生の試合にふさわしくない行為をしない。
 - カ 応援席周辺的环境美化に努め、退場時にも必ず確認する。
- ④ 組み合わせ当日に指示される、会場への交通手段、駐車方法、練習会場等は、責任もって各参加校で関係者への周知徹底を図る。
- ⑤ 登録済の選手の変更は認めないが、大会開始当日のみ、突発的な事情で変更する場合は、本部の了解があれば認める。
- ⑥ 優勝、準優勝、3位チーム（代表決定戦を行う）に県大会出場資格を与える。
- ⑦ 審判員は、上着は白または青色の半袖か長袖のワイシャツ、ズボン紺系統のもの、帽子は審判用のもの、靴は黒のものを着用する。
なお、試合開始1時間前には、会場に集合すること。
- ⑧ 本部席へは大会役員、競技役員以外の入室を禁止する。